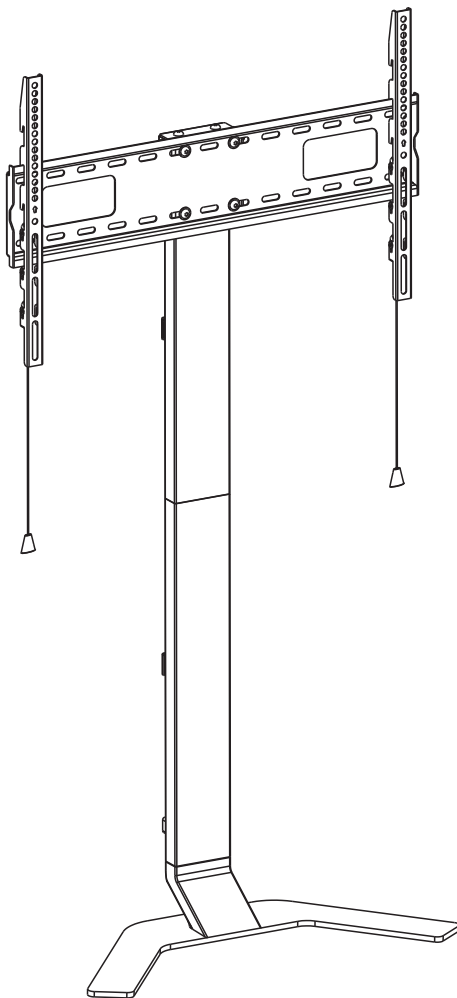


壁寄せテレビスタンド 使用・取付け説明書

型番
『FSD-46EX』



※本商品は自立しないため、転倒防止に壁への固定が必要です。

この度は本商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
設置の前に本説明書をよくお読みのうえ正しく設置・使用してください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性及び、物的損害の発生が想定される内容を示しています。



禁止の行為である事を告げるものです。



行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

警告



本説明書が無視した組み立て設置や誤った組み立て設置、取付け不良、取付け強度不足、本来の目的外の利用及び、天災などによる事故や破損については、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。



テレビスタンド自体の不備や不具合にはご対応できますが、お客様の床構造・強度については当店では責任が持てない事をご了承ください。お客様ご自身で強度をご確認の上、自己責任にて設置をお願いします。



お客様による設置作業については弊社では一切保証できず、自己責任となります。



お客様ご自身で設置作業を行う際は十分注意し、自己責任で取付けを行ってください。少しでも不安のある場合は無理に取付けを行わず専門業者へ依頼してください。



必要な部品は本説明書通りの手順で全て確実に取付けてください。不備がある場合、転倒や落下により家屋の破損が発生する恐れがあります。



本製品に乗る、脚をかける、ぶら下がる、棚の上に乗る等の行為をすると転倒し怪我の原因となることがあります。



商品ごとに定められている許容重量以下のテレビのみをご使用ください。耐荷重以上の物を取付けると転倒し機器の破損、怪我をする恐れがあります。



次の場所には、設置をしないでください。

- やわらかい床面、傾いた床面など不安定な場所
- 屋外や海岸、温泉に近い場所、温度・湿度の高い場所
- 動力用電源配線、空調機器、防磁型ではないスピーカーに近い場所
- 人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
- ぐらつく、傾くなど不安定な場所
- 振動や衝撃が頻繁にあるような場所
- テレビの通気が悪い場所、通風を妨げるような場所
- 開閉するドアの近くなど、日常生活の行動に支障をきたす場所
- 常時人がいる場所の真上など万が一落下した場合に危険性が高まる場所
- その他設置する事で危険性が増す場所など

注意



取付けを行う前に、テレビが今回お買い上げのスタンドに取付けできるかを今一度確認してください。スタンドの組立を行った後に、テレビの取付けが出来ないと発覚しても弊社では一切の責任を負いかねます。何卒慎重にご確認ください。



テレビスタンドの種類やテレビの大きさによっては、重量がある場合がございます。基本的には2人以上で組立・設置作業を行ってください。



設置作業を行うにあたって、安全性を十分に考慮し、設置中の怪我や部屋及び家財に損傷を与える事のないようにご注意ください。また、作業時は十分なスペースを確保してください。

取付け設置時に必要な道具・工具は揃っていますか？

- プラスドライバー（長さの異なるものが数種類あると便利です）
- 必要に応じて、スパナ、六角レンチ、ボックスレンチ
- 間柱センサー（下地探知機：電気式、機械式どちらか）
- ドリル（下穴用、電動ドライバーと併用できる物ならば尚可です）
- 滑り止め付きの軍手（怪我防止、落下防止に便利です）
- メジャー（設置箇所の計測、水平、垂直の計測に使用します）
- ペン、鉛筆（設置箇所、ネジ穴のマーキングなどに使用します）
- マスキングテープ（水平目安の為にがあると便利です）
- 水平器

取付けを始める前にもう一度チェック！

- ☒ 付属部品は揃っているか、取付けに足りない部品は無いかな。
- ☒ スタンドに不備はないかどうか、破損などの不良部品・不良箇所は無いかどうか。
- ☒ テレビの適合をもう一度確認してください。
テレビ側ブラケットを実際にテレビ背面のネジ穴に合わせてみましょう。

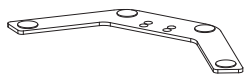
付属ネジに関して

- テレビ側のネジは、多くのテレビを取付け可能にする為に数種類の径の太さで一般的な長さのものを付属しています。ただし、どうしてもそれらのネジで合わないテレビもある事から、そのような場合はお客様にてホームセンターなどで適切なネジをご用意ください。

付属の部品一覧

※金具・部品の仕様や形状は実際とは多少異なる場合がございます。

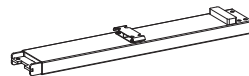
テレビスタンド本体・組立てに使用する部品



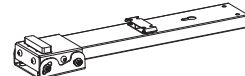
A. 土台
…1 個



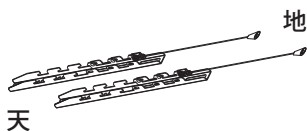
B. 土台 / 支柱接合部品
…1 個



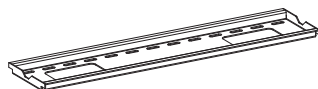
C. 支柱 (下)
…1 個



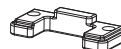
D. 支柱 (上)
…1 個



E. ブラケット
…2 個



F. テレビ側プレート
…1 個



G. 上下支柱接合部品
…1 個



H. M8x14 ボルト…4 本
(土台固定用)



I. M8x18 ボルト…6 本
(支柱固定用)



J. M8x12 ボルト…4 本
(テレビ側プレート固定用)



K. ワッシャー…4 個
(テレビ側プレート固定用)

テレビを取付ける際に使用する部品



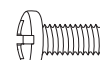
M-A. M4x14 ボルト
…4 本



M-B. M5x14 ボルト
…4 本



M-C. M6x14 ボルト
…4 本



M-D. M8x16 ボルト
…4 本



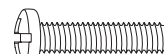
M-E. M4x30 ボルト
…4 本



M-F. M5x30 ボルト
…4 本



M-G. M6x30 ボルト
…4 本



M-H. M8x35 ボルト
…4 本



M-I. M4 / M5
ワッシャー…4 個



M-J. M6 / M8
ワッシャー…4 個



M-K スペーサー小
(10mm)…4 個



M-L. スペーサー大
(20mm)…4 個

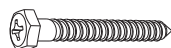
※多くのテレビに合う一般的な長さのネジが付属しています。万が一付属のネジで合わない場合は、別途ホームセンター等で適切なネジ類をご用意ください。

壁に固定する際に使用する部品

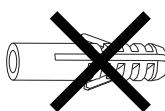
※本商品は自立しないため、転倒防止に壁面への固定が必要です。



L. 転倒防止ピン
…1 本



M. 六角タッピングビス
…1 本



使用しない

工具



N. 5.5mm 六角レンチ
…1 個

Step 1. ブラケットを取付ける前に

- 【1. 取付けを行う前に、テレビが今回お買い上げのテレビスタンドに取付けできるかを今一度確認してください。】
- 【2. テレビの据え置きスタンドや電源ケーブル等の配線を全て外してください】

Step 2 - ①. ブラケットの取付け ～テレビ背面がフラットの場合～

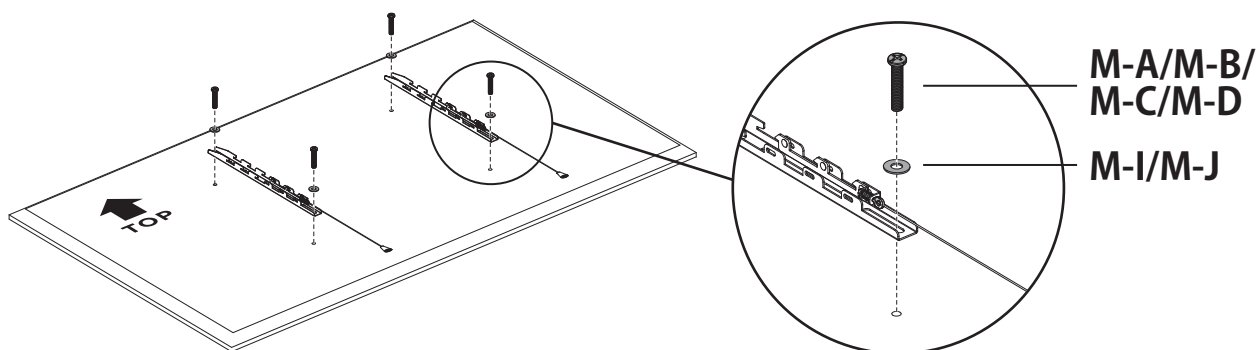
テレビの背面がフラットで干渉する様な箇所がない場合

【1. テレビ背面にブラケットを取付ける】

- 下図を参考に、テレビ背面に開いている金具取付けネジ穴に▼ブラケット (E) を▼ワッシャー (M-I/M-J)、▼ボルト (M-A/M-B/M-C/M-D) を使って取付けます。[→Step3 へ進む]

ポイント

- ・ボルトはテレビ背面に開いているネジ穴の大きさに合ったものを選んで取付けてください。**付属ネジの全ては使用しません。**
- ・ブラケットの矢印上方向が上になる向きに取り付けてください。また、2つのブラケットが平行になるように取付けてください。左右とも取付ける穴の位置は同じにしてください。

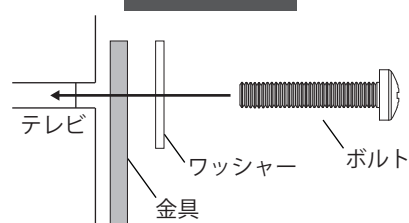


⚠ 注意

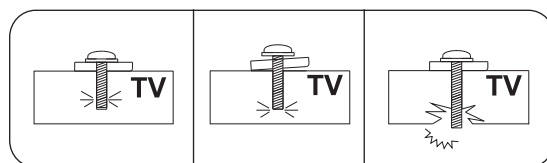


付属しているボルト類は基本的なものになります。取付けのテレビネジ穴の径や深さに合わない場合は別途適切なボルトをご用意の上お取付けください。無理に取付けを行うと、テレビの破損や落下の危険があるので絶対に行わないでください。

取付け順序



最適なサイズのボルトを使用



テレビの背面に段差がある場合や配線が干渉する場合

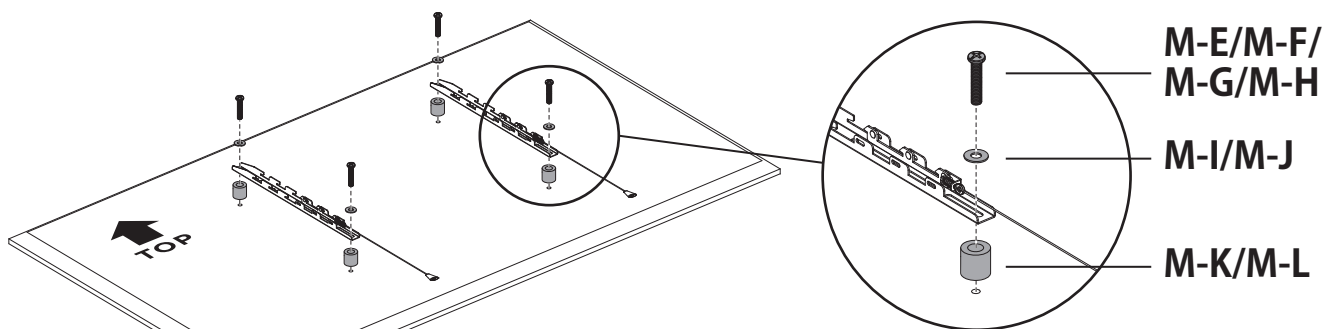
【1. テレビ背面にブラケットを取付ける】

- テレビに段差がある場合やテレビ側ブラケット取付け時に配線等に干渉する場合は、
▼**スペーサー**を使用して取付けます。下図を参考に、テレビ背面に開いている金具取付けネジ穴に▼**ブラケット(E)**を▼**スペーサー(M-K/M-L)**、▼**ワッシャー(M-I/M-J)**、▼**ボルト(M-E/M-F/M-G/M-H)**を使って取付けます。[→Step3 へ進む]

ポイント

- ・ボルトはテレビ背面に開いているネジ穴の大きさに合ったものを選んで取付けてください。
付属のネジ類の全ては使用しません。
- ・スペーサーは段差の高さに合ったものを選んで取付けてください。
- ・ブラケットの矢印上方向が上になる向きに取り付けてください。また、2つのブラケットが平行になるように取付けてください。左右とも取付ける穴の位置は同じにしてください。

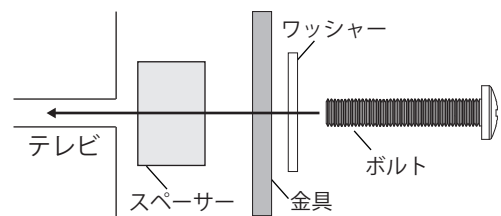
段差の高さに合わせて、スペーサー (M-K/M-L) を選んで使用してください。



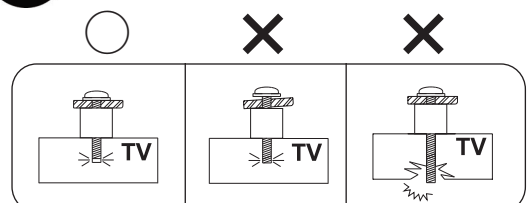
⚠ 注意

- ❌ 付属しているボルト類は基本的なものになります。取付けのテレビネジ穴の径や深さに合わない場合は、別途適切なボルトをご用意の上お取付けください。
- ❌ スペーサーを使用しても干渉してしまう場合は、無理に取付けを行わないでください。
- ❌ 無理に取付けを行うとテレビの破損や落下の危険があるので絶対に行わないでください。

取付け順序



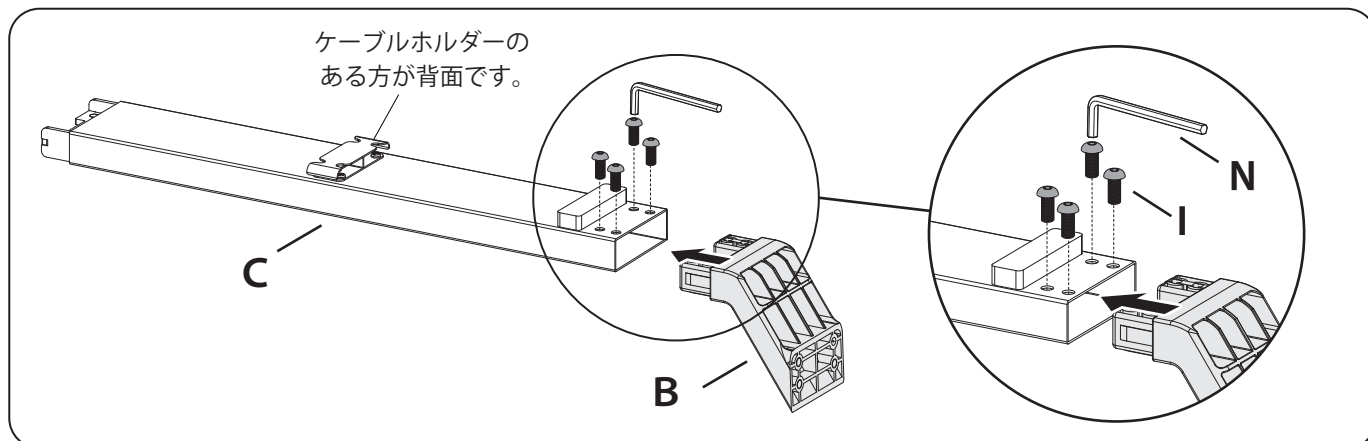
最適なサイズのボルトを使用



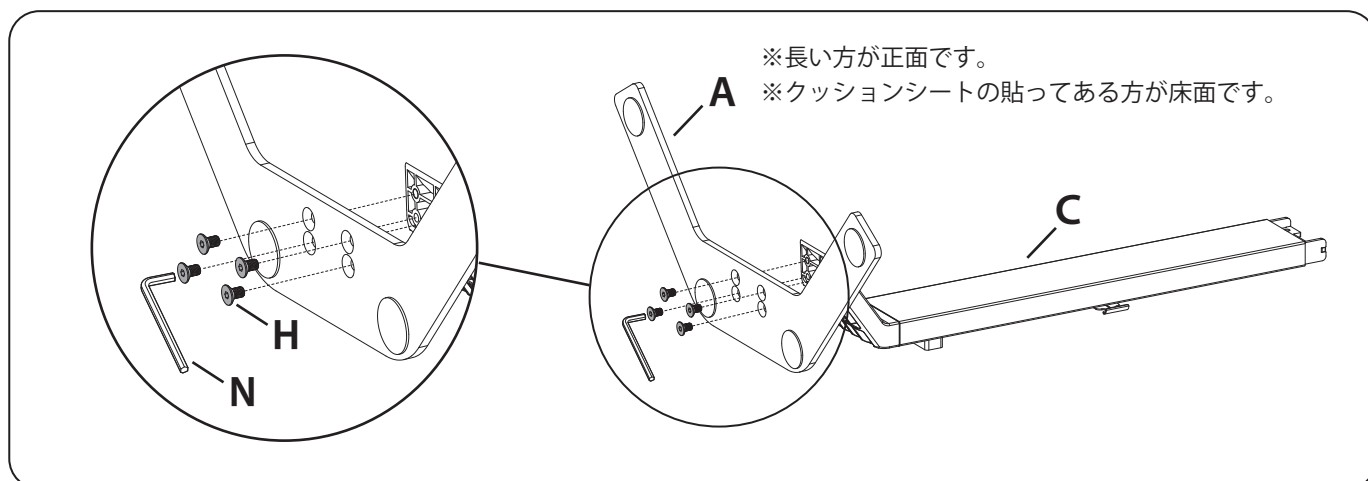
Step 3. テレビスタンド本体の組立て

【1. 土台と支柱を組立てる】

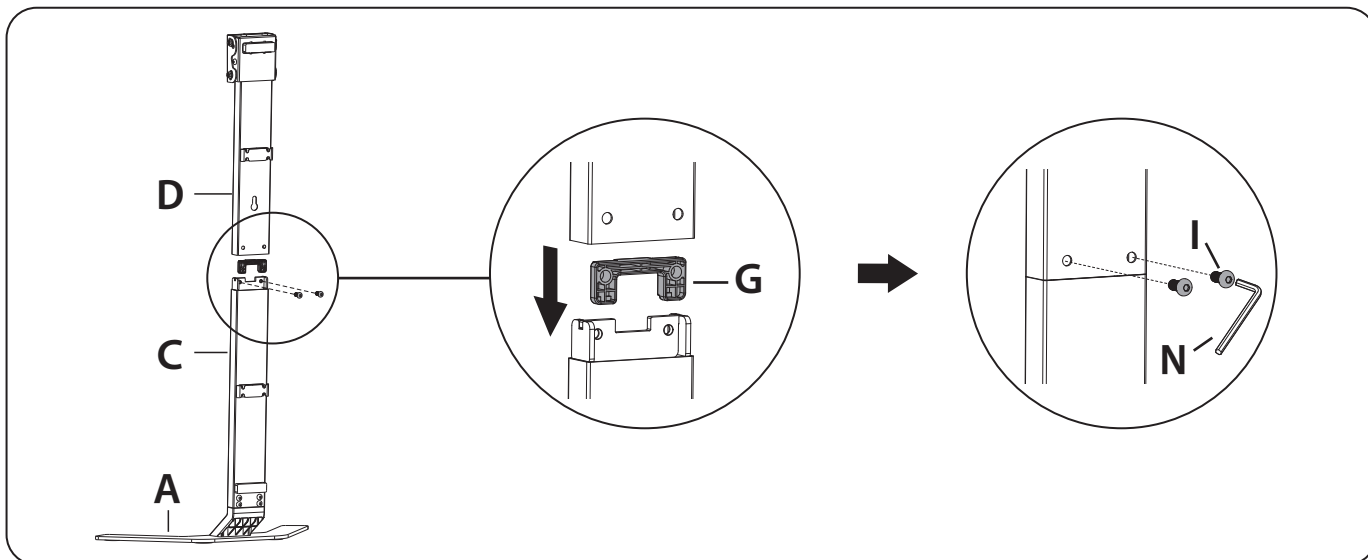
- 下図を参考に、▼支柱(下)(C)に▼土台/支柱接合部(B)を、▼5mm 六角レンチ(N)と▼M8×18 ボルト(I)を使用して取付けます。



- ▼支柱(下)(C)に▼土台/支柱接合部(B)を取付けたら、▼土台(A)を、▼5mm 六角レンチ(N)と▼M8×14 ボルト(H)を使用して組立てます。



- ▼土台(A)と▼支柱(下)(C)を組立てたら、▼支柱(上)(D)を組立てます。下図を参考に、▼支柱(下)(C)に▼上下支柱接合部品(G)を差し込み、その上から▼支柱(上)(D)をはめ込んで、▼5mm 六角レンチ(N)と▼M8×18 ボルト(I)を使用して組立てます。



Step 4. 壁面への固定



注意 本商品は転倒防止のため、壁面への固定が必要です。

- 本商品は自立しないため、壁面への固定が必要です。
- 各家屋によって壁面の構造や強度は異なります。組立説明書に記載している取り付け方法を参考に、十分な強度を持つ最適な取り付け方法を決めて作業を行ってください。
- 壁固定するので、前へ転倒する心配がありません。



注意 取付け前に必ずお読みください！



補強用の合板等は 12mm 以上の厚みの場合に限りです。

ご自身での設置作業は自己責任での設置となります。壁面への取付け不備による事故や損害に関しては一切の保証がございませんので、取付けを行う際は十分に確認し、安全性を考慮したうえで作業を行ってください。少しでも不安が残る場合は無理に作業を行わず、専門業者に設置依頼の相談をしてください。

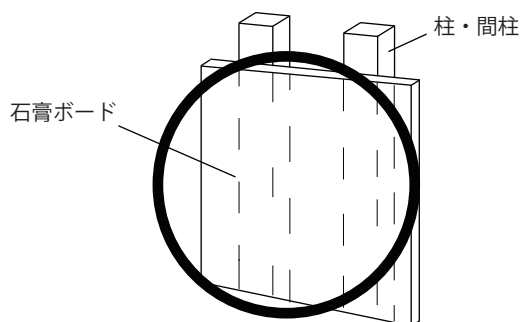


ご自身でお取付けになる際は必ず自己責任のもと、安全確認等に細心の注意を払い、無理のない作業を行ってください。テレビや金具の重量によってはもちろんの事、基本的には安全を考慮し2人以上で作業を行ってください。



！ 石膏ボードの裏側に柱や間柱がある場合

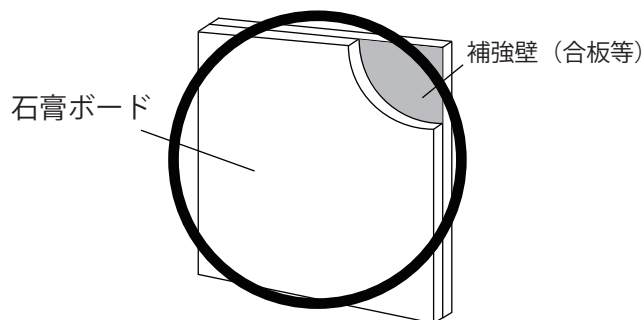
間柱センサーなどで石膏ボードの裏にある柱・間柱を探し、柱の中央にネジを止めるように取付けを行ってください。



！ 石膏ボードの裏側（表側）に補強が入っている場合

新築時やテレビの壁掛け用に別途合板等で補強を入れてある場合、その部分に取付けが可能です。

補強用の合板等は 12mm 以上の厚みの場合に限りです。

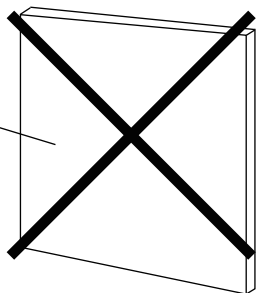


石膏ボードのみの場所へ取付けを行う場合

石膏ボードのみの場所への取付けは出来ません。

石膏ボード自体の強度が弱く、取付けを行った場合に壁ごと破損、落下する恐れがあります。

石膏ボード（裏に
柱・間柱が無い箇所）



壁がコンクリートやレンガの場合
鉄筋の柱へ取付けを行う場合

コンクリートへの設置や鉄筋への取付けは、DIY が得意な方でも大変困難な作業となります。

コンクリートやレンガの壁への取付け工事・鉄筋への取付け工事は専門業者へご依頼ください。

説明も記載していません。



砂壁・土壁の場合

砂壁や土壁の場合は、石膏ボード同様強度が弱くお取付けができません。内装業者・電設業者などに依頼し、別途壁に補強工事を行う必要がございます。

そのまま取付けを行った場合は壁ごと破損、落下する恐れがある為絶対にお止めください。



注意

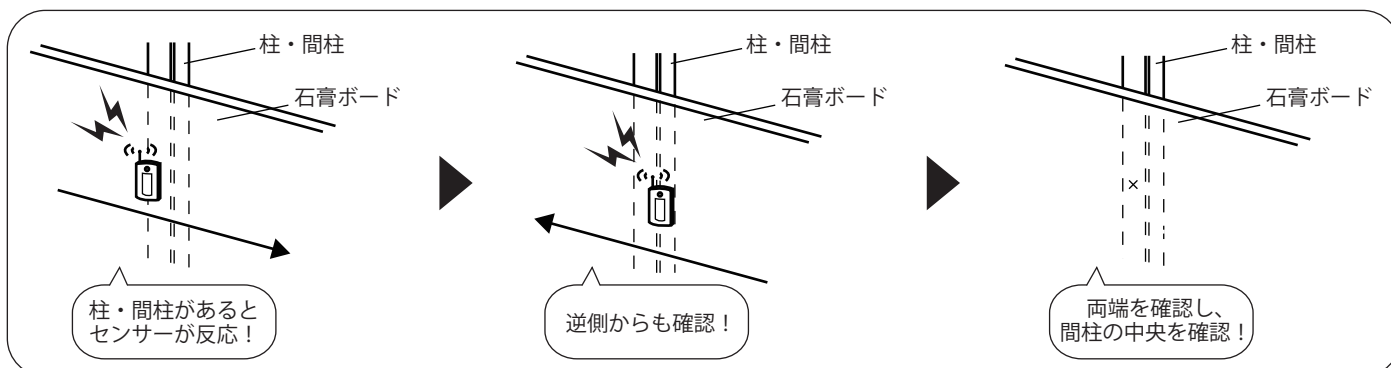
- お客様の設置場所の壁構造・強度については弊社では一切保証できません。
- お客様による設置施工・工事については弊社では一切保証できません。
- 上記により金具が取り付けられない場合でも返品は不可となりますのでご注意ください。
- 間柱の場合、各間柱の角材サイズは3cm～4cm 角を想定しております。
- 本取付方法はとにかく間柱強度に左右されますので、お客様ご自身で強度をご確認の上、自己責任にて設置くださいますようお願いいたします。(当店ではお客様の壁強度について責任が持てません)

間柱に取付ける際の、間柱の見つけ方

- 一般的な方法として、「間柱センサー」や「探知針」を使って間柱を見つける方法があります。「間柱センサー」は電気信号で見つけるタイプ、「探知針」は細い針を刺すタイプがあります。設置する場所に目星をつけ間柱センサーや探知針で調べていきます。
- 間柱を見つけたら目印をつけ、間柱の中央付近を確認しましょう。最初に見つけた場所が間柱の端だった場合、ネジが効かなかったり間柱が割れてしまう可能性がありますので、間柱の中央付近をしっかりと確認して確実にネジを打てる場所を見つけてください。

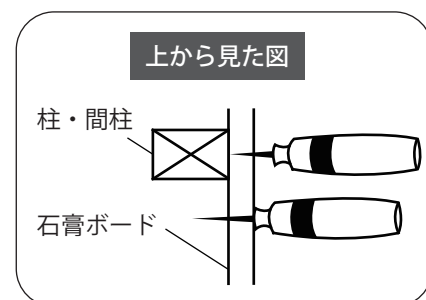
【間柱センサーを使用する場合】

- 片側から壁をなぞるように数回調べます。センサーの鳴り始めが間柱の端になりますのでその部分に印を付けます。
- 逆側からも同じ様に間柱の逆端を調べ、2点の中間＝間柱の中央に目印を付けてください。
- センサーには1cm～2cm 程の誤差が出る場合があるので、必ず左右の中央に目印を付けるようにしてください。



【間柱探知針を使用する場合】

- 取付けを行う位置に柱があるかどうかを確認するために、平行に数か所に針を刺します。
- 刺すタイプは、間柱がないと手ごたえがなく針が奥まで入ります。針が止まると柱や間柱がある場所です。(仕様はメーカーによって異なります)
- 刺す場所は1箇所ですらなく、数か所刺して間柱の中央を探し印を付けてください。



間柱センサーや探知針をお持ちでない場合

間柱センサーや間柱探知針はホームセンターやインターネットで多数の種類が販売されています。

また、弊社ホームページでも販売しています。

※時期や在庫状況などによって、弊社で販売している種類が異なったり、販売を一時中止している場合がございます。

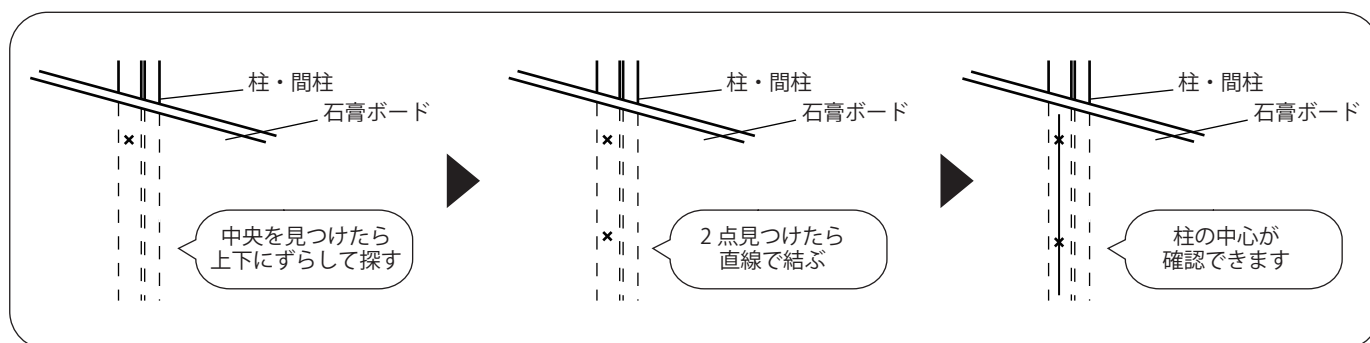
上記の方法でも柱・間柱が確認できない場合

間柱センサーや探知針を使用しても柱・間柱の立っている箇所が見つからない場合、GL工法など別の構造の場合があります。確認しても見つからない場合は、決して作業を続行せず専門業者にご相談・ご依頼ください。

正確な使用方法に関して

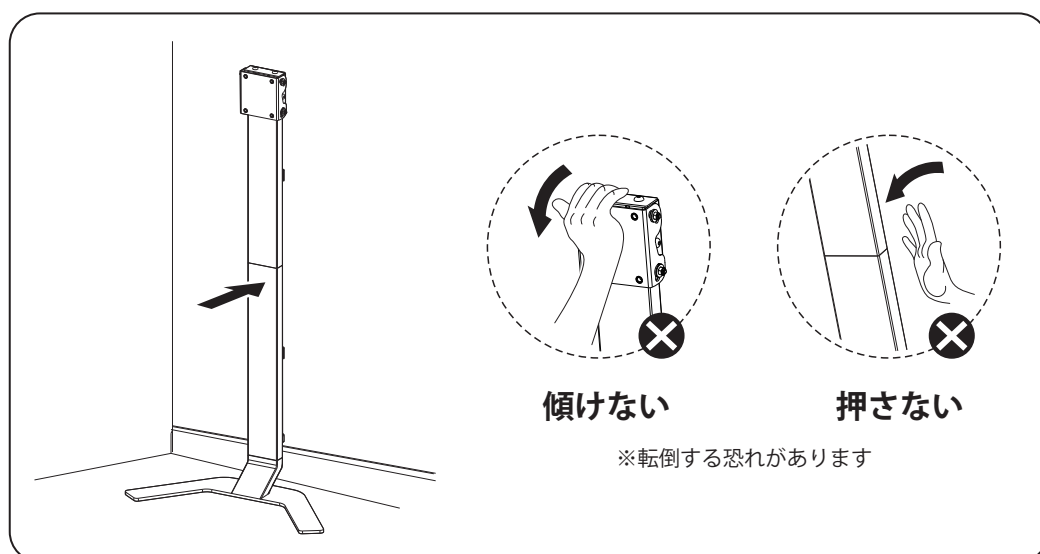
上記で説明している方法は簡易的な説明でございます。詳しい使用方法是メーカー取扱い説明書をご確認ください。

- 間柱に固定する場合、間柱の中央が見つかったら探す位置を上下にずらしてまた中央を見つけてください。その2点を直線で結べば、間柱の中心線を描く事が出来ます。



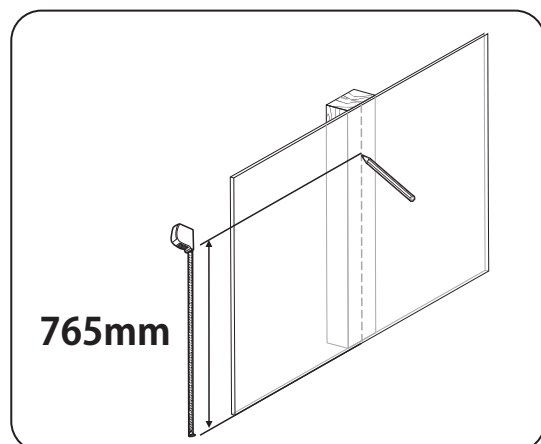
【1. テレビスタンドを設置する位置に運ぶ】

- Step3 で組立てたテレビスタンド本体を運び、設置したい位置を決めます。この時支柱上部をつかんで傾けたり、支柱を押ししたりしないよう注意してください。



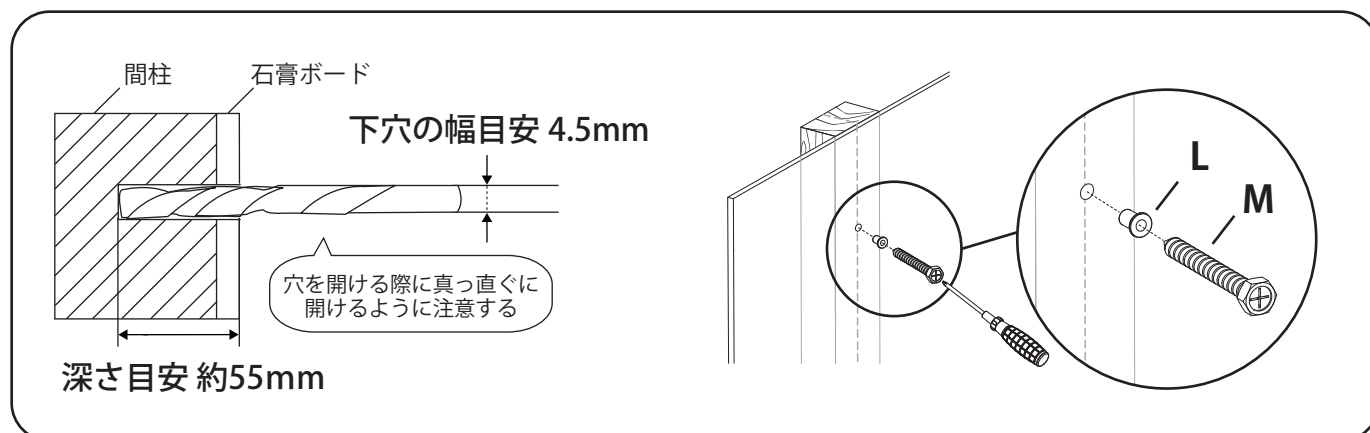
【2. 下穴を開ける位置を確認し、印を付ける】

- テレビスタンドを設置したい位置を決めたら、床面から 765mm の位置に印をつけます。



【3. 印に下穴を開けて転倒防止ピンを取付ける】

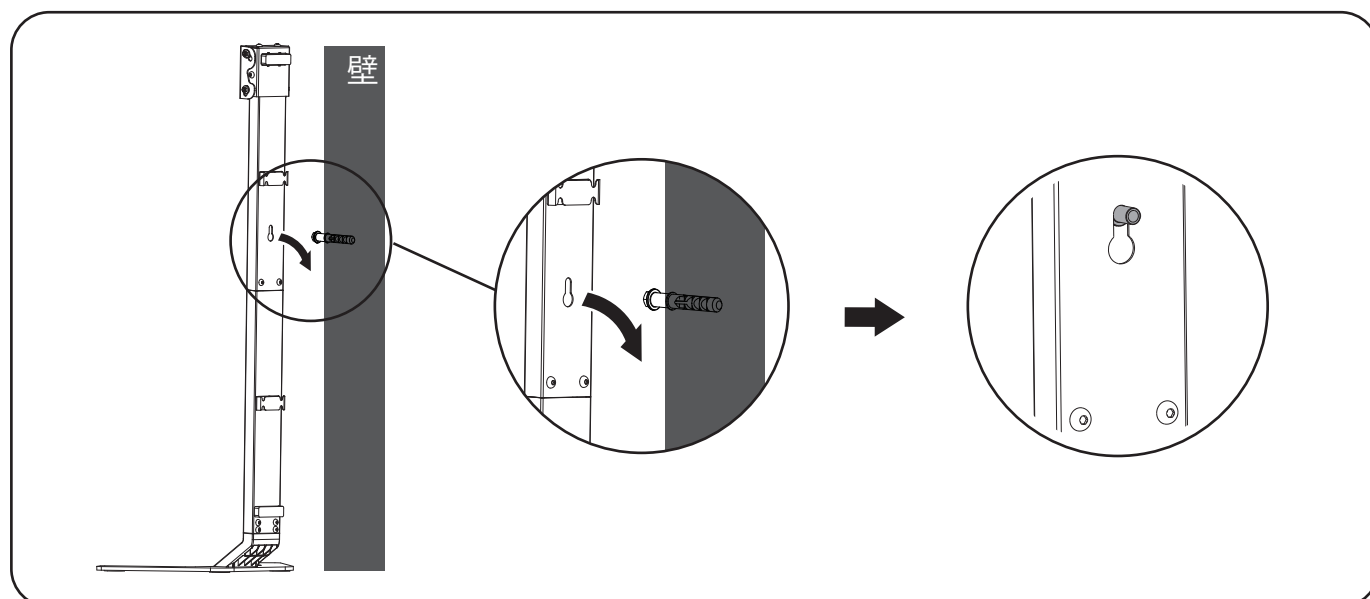
- 2. でつけた印の箇所にドリルを使用して下穴を開けます。ズレないように十分に気を付けて作業を行ってください。電動ドリルがあるとスムーズに作業が進みます。
- 穴を開けたら、▼転倒防止ピン (L) を差し込み、その上から▼タッピングビス (M) を差し込んでしっかりと固定してください。



※下穴の幅及び深さの目安は付属のタッピングビスを使用した場合の数値です。
別途ビス類をご用意された場合は用意したビス類に応じて適切な大きさの下穴を開けてください。

【4. 転倒防止ピンにテレビスタンドを引っ掛けて固定する】

- 3. で取付けた転倒防止ピンにテレビスタンドを引っ掛けて壁に固定します。



Step 5. テレビをテレビスタンド本体に固定する



注意



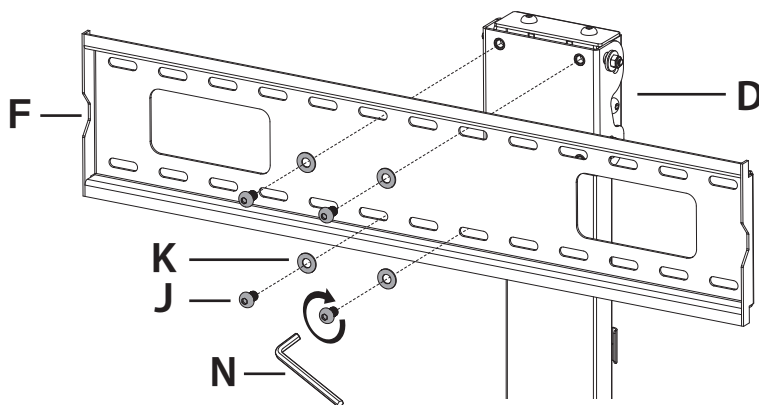
この項目での作業は、テレビの大きさや重量によっては大変困難な作業となる場合がございますので、無理に1人で作業を行わずに2人以上での取付け作業を行ってください。



無理な作業による作業者の負傷や、テレビや金具などの破損・損傷などについては弊社では一切の責任を負えませんので、安全に作業を行うようにしてください。

【1. テレビ側プレートをテレビスタンド本体に取付ける】

- 下図を参考に、▼M8×12 ボルト (J)、▼ワッシャー (K)、▼5mm 六角レンチ (N) を使用して▼テレビ側プレート (F) を▼支柱 (上) (D) に取付けます。

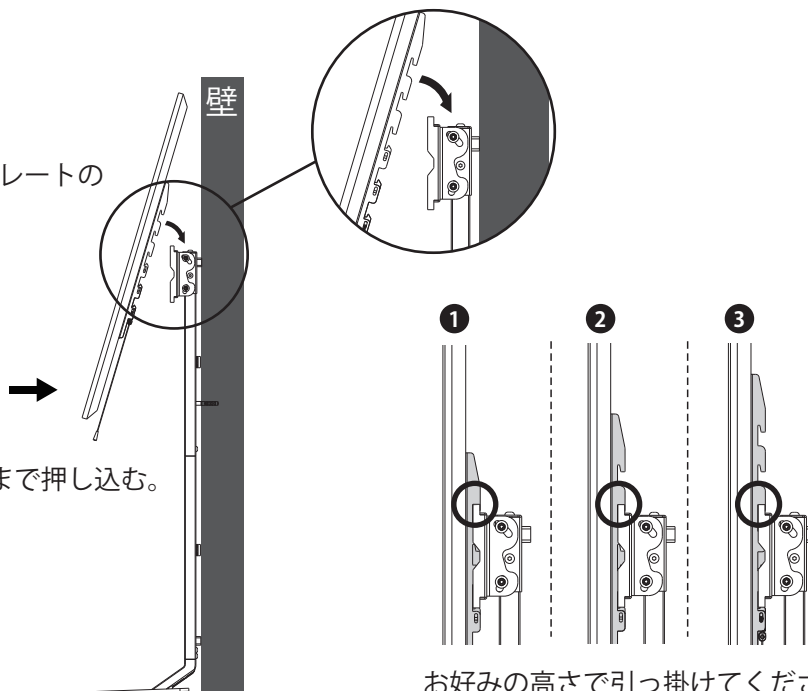


【2. テレビ側プレートにブラケットを引っ掛ける】

- ▼ブラケット (E) を引っ掛ける位置によって、テレビの高さを3段階で調節することが可能です。
- 下図を参考に、Step 2 でテレビ背面に取付けた▼ブラケット (E) の引っ掛ける部分を▼テレビ側プレート (F) の上部のくぼみへ上から引っ掛けます。上部がしっかりと引っ掛かっているのを確認できたら、テレビの下側を「カチッ」と音がするまで押し込んでしっかりとロックしてください。

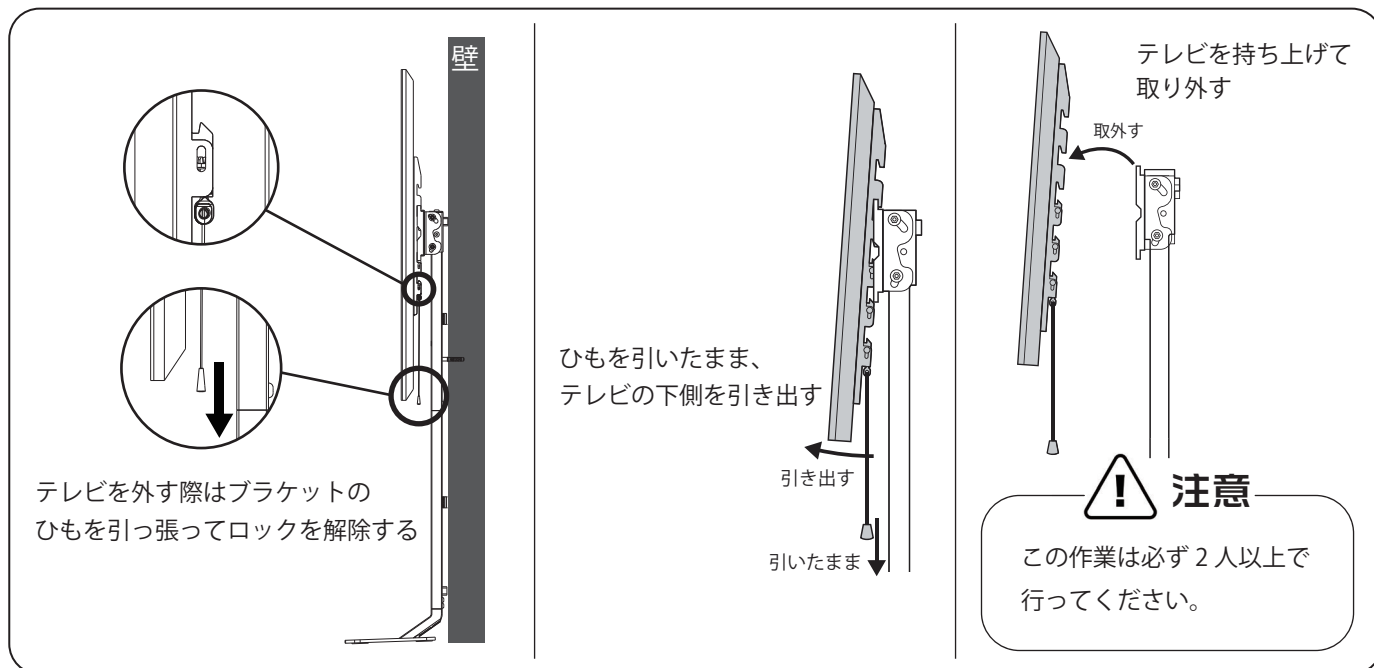
ブラケットを壁側のプレートの上から引っ掛ける

「カチッ」と音がするまで押し込む。



お好みの高さで引っ掛けてください

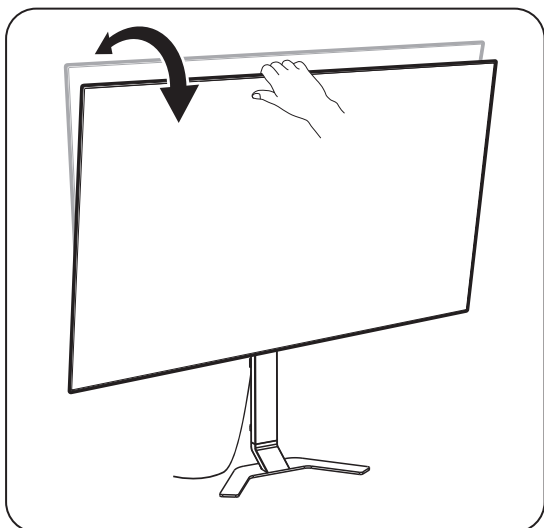
- テレビを取り外す際は、ブラケットのひもを下に軽く引き、ロックが解除された状態でテレビを持ち上げて取り外してください。



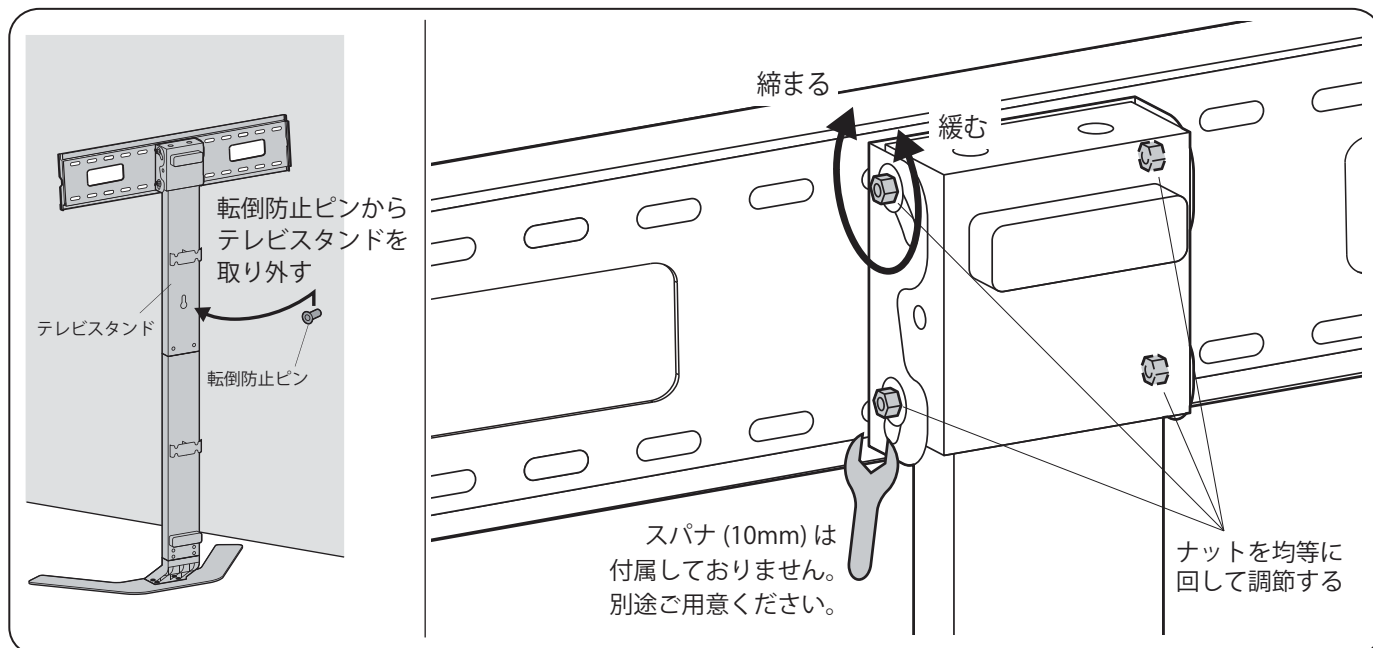
Step 6. テレビの上下角度を調節する

【1. テレビの上下傾き角度を調節する】

- テレビを直接動かし、工具不要で上下角度の調節が可能です。
- ※転倒防止ピンで固定していますが、転倒しないようにご注意ください。



- 上下角度の調節箇所の動きが固い / 緩い場合はテレビスタンド背面上部のナットを調節してください。
※調節の際はテレビを取り外し、壁の転倒防止ピンから支柱を取り外す必要があります。

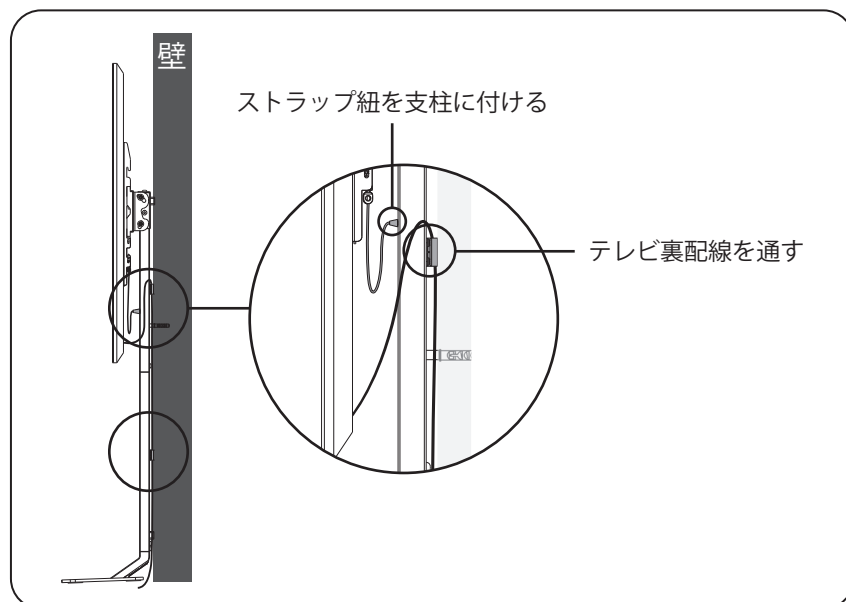


- 固さ調節後、組立手順に従って再度組み立ててください。

Step 7. テレビの配線、ストラップ紐を収納する

【1. テレビの配線、ストラップ紐を収納する】

- 支柱の裏側に 2 箇所の配線収納があり、テレビ裏の配線を通すことが可能です。
- ブラケットのストラップ紐は先端がマグネットになっており、支柱に付けて収納が可能です。



Step 8. 最終確認

- ✓ 各取付け部分およびボルトやネジ・ナットの緩み、ガタつきがないかを確認してください。
緩みが確認できた際は増し締めをしっかりと行ってください。少しでもガタつきや、違和感があった際には取付けを中止してください。また、この確認作業は定期的に (3 ヶ月～半年に 1 回程度) 実施し、問題なく使用できていることを確認してください。
- ✓ 経年使用による落下が無いように注意をして使用してください。

免責事項

- 本取扱説明書に記載されている警告・注意事項や禁止事項を遵守しない不適切な使用、取り付け不備、お客様による商品の改造などによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本商品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失、壁面のネジ穴跡や変色など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

エモーションズ株式会社

〒214-0032

神奈川県川崎市多摩区柵形 2-1-17 岩本ビル 4F

TEL : 044-455-4728

MAIL : info@emotions.co.jp